

市民提案型協働事業提案書

平成21年 9月 4日	
実行委員会あて	
住所 守谷市みずき野4丁目7-14	
提案者 団体名	
氏名 青木公達 印	
担当者名	
連絡先 0297-45-4540	
1. 提案事業名	『守谷まちづくりファンド』と『守谷まちづくり事業法人』の創設
2. 現状の課題	守谷市では現在、『守谷市補助金等審議会条例』に基づき補助金を配布している。『平成21年度市補助金の交付に関する答申について』によると、平成21年度補助金申請件数、66件（内市事業36件）のうち、採択された件数が64件・金額3億3千2百万円（内市事業35件・2億6千6百万円）となっている。詳細をみると『市事業以外の事業』の申請者は、市事業の一部とみなされる案件が殆どで、市民から提案されている『協働のまちづくり』事業への補助金はあまり見当たらない。『市事業』の中に協働のまちづくり関連と思われる案件が含まれているが、包括的な名称となっている為詳細は不明である。協働のまちづくり事業に関する案件は『市事業』から外し公表すべきと思われる。また市民が提案する『協働のまちづくり』は、複数の行政部署にまたがるケースが多く、現在の補助金制度での全ての対応は難しいと思われる。
3. 事業の目的と事業内容	<目的> 協働のまちづくりをより一層推進する為、資金の供給・需要を活発化すると共に透明な資金の管理・運営を行う。 <事業内容> 現在の補助金制度から協働のまちづくりと生涯学習に関する補助金を外し、新設する『守谷まちづくりファンド』に集約すると共に、『守谷まちづくりファンド』を一般市民や企業からの寄付、及び国・県から拠出される資金の受け皿とする。『守谷まちづくりファンド』の管理運営は「公益信託制度」を活用して透明性を維持する。『守谷まちづくりファンド』への寄付金の募集や市との拠出金の調整等の実務は新設の『守谷まちづくり事業法人』が行う。また『守谷まちづくり事業法人』は活動団体からの助成金申請の公募及び発表会を行い、助成先は『守谷まちづくり事業法人』内に設ける運営委員会が検討して公益信託『守谷まちづくりファンド』に推薦し、助成金は『守谷まちづくりファンド』から支給する。
4. 事業の期間	平成22年4月～平成23年3月 ① 『守谷まちづくりファンド』の設置 ② 国・県から拠出金申請 ③ 『守谷まちづくり事業法人』の創設 ④ 平成22年度市民提案型協働事業案募集と発表会

5. 協働の効果	<p>①公益信託である『守谷まちづくりファンド』は、市民・企業からの寄付や県・国からの拠出金を自由な立場で集め易い。</p> <p>②『守谷まちづくり事業法人』を通して協働事業への助成金を公募する事は助成金の活用を一般化させると共に協働事業の浸透を図る事が出来る。</p> <p>③『守谷まちづくりファンド』を公益信託財産とする事により透明性が増す。</p>
6. 役割分担	<p>(提案者の役割)</p> <p>『守谷まちづくり事業法人』の運営にたずさわり、市から委託された業務を実行する。また公益信託『守谷まちづくりファンド』の管理・運営を委託された金融機関の窓口となる。</p> <p>(市の役割・担当課)</p> <p>『守谷まちづくりファンド』へ、毎年の資金の拠出。 『守谷まちづくり事業法人』へ、法人設立の為の出資と、法人への毎年の業務委託費用。</p>
7. 計画事業 終了後の対応	<p>協働のまちづくりは単年で終了するものではなく、継続する事が一番重要なことである。掛声だけに終わらせない為にも、協働のまちづくりを推進するシステムを構築することは行政が真っ先に取りかねばならない施策である。本事業は守谷市の協働のまちづくりの土台になり得るものであり、協働のまちづくりに携わる関係者は、システムをより進化したものにする努力をしなければならない。</p>

(様式第1号の2)

協働事業収支予算書

提案事業名	『守谷まちづくりファンド』 と 『守谷まちづくり事業法人』 の創設
提案者	青 木 公 達

収入の部

区分	見積額 (単位:円)	積算根拠 (数量、単価等)
市負担金	1,500,000	支出概算による。
収入合計	1,500,000	

支出の部

区分	見積額 (単位:円)	積算根拠 (数量、単価等)
守谷まちづくりファンド設立費用	500,000	「公益信託」調査諸費用、契約諸費用 (印紙税等含) (調査のみの拠出金、その他は他費は含まない。)
守谷まちづくり事業法人設立費用	700,000	「事業法人」設立調査・準備諸費用、及び設立諸費用 (諸税等含) (設立の為の出資金、その他人件費は含まない。)
平成23年度市民提案型協働事業案募集と	300,000	平成21年度実施予算に基づく。
支出合計	1,500,000	

協働事業個人概要書

1. 氏名	氏名 : 青木公達	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開
住所	住所 : 守谷市みずき野4丁目7-14	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開
電話・FAX	電話 : 0297-45-4540 FAX : 0297-45-4540	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開
e-mail	e-mail: ugg39241@nifty.com	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開
<要注意>公開・非公開に記載がない場合は、公開可と判断します。			
2. 活動の目的	子供たちはさまざまな環境に取り巻かれている。小学生までにも普及しつつある携帯電話、「教育改革」が運んできた学校教育の方針変更、そして後を絶たない地域での不審者、等々。と同時に、「子」を持つ「親」の家庭教育での自信喪失。また定年退職後に地域社会で生きて行かねばならない肩書き無しの「父親」。そこには、学校教育、家庭教育、社会教育という枠組みを超えた、社会生活を送る上で基本となる「人と人との繋がり」という、「地域づくり」の大きなキーワードが見えてくる。代表を務める『リカレント☆ねっと』は、「子供の健全育成と世代間交流」および「生涯学習」を中心テーマとして活動してきた。		
3. 活動の分野	<input type="checkbox"/> 保険・医療・福祉 <input checked="" type="checkbox"/> 社会教育 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 文化・芸術・スポーツ <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権擁護・平和推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成 実績⇒ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 子供の健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の進展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活発化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発・雇用機会の拡充支援 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体運営の支援 <input type="checkbox"/> その他		
4. これまでの市民活動実績と今後の予定	現在、任意団体『リカレント☆ねっと』の代表をしている。「子育て」と“自分づくり”を楽しむためのセミナーを皮切りに、毎回守谷市教育委員会の後援を頂きながら、幼児からお年よりまで楽しめるスポーツ、“インドア・ローンボウルズ”や家族単位での参加が増えている、守谷の歴史・自然・野鳥等を学ぶ“親子で発見・宝探しウォーキング”等を開催している。また、住宅メーカーとの“テク守谷探検マップ”作成や、銀行のセミナー・ルームを利用した“市民講座”を立ち上げた。現在の任意団体から特定非営利活動法人への移行を準備中である。		
5. 特技	代表をしている『リカレント☆ねっと』の殆どのメンバーは、かつて小中学校のPTA会長・役員経験者である。また現役のPTA会長・役員であったり、「放課後こどもプラン」に深くかかわっている者もいる。従って活動には大人ばかりでなく多くの子供の参加がある。		
4. 市との協働に関する考え方	『リカレント☆ねっと』での事業では教育委員会の後援をもらっている。また守谷市スポーツフェスティバルでは、ローンボウルズを新スポーツとして紹介している。これからの「まちづくり」は、行政、市民、市民活動団体、企業の4者が、各自の責任を果たしながら協働していくことが求められる。		
8. 協働に当たって他団体との連携	<input type="checkbox"/> 提携団体単独で市と協働したい <input type="checkbox"/> 他の団体と連携したい <input checked="" type="checkbox"/> 状況により連携してもよい (理由) 現在単独で活動をしているが、同様の考え方を持って協力しあえる団体があればテーマ・テーマで一緒にやりたいと思う。		
9. 備考	<事業を支援する人やチームがあれば記入して下さい>		